

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 観音谷川砂防工事全体計画書作成業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 砂防 構造物基礎

ボーリング名	BorNo. R2-Br-2	調査位置	広島県府中市広谷町本谷 地内	北緯	34° 34' 16.0432"
発注機関	広島県東部建設事務所 工務第二課第二係	調査期間	令和2年 9月 1日～ 令和2年 9月 4日	東経	133° 15' 15.0914"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コ	ア	鑑	定	者	ボーリング責任者
孔口標高	TP 78.50m	角	180° 上 90° 下 0°	方	0°北 270°西 0°東 180°南
総削孔長	6.08m	度	0°	向	0°北 90°東 180°南 270°西
地盤勾配		36°	水平	0°	鉛直
使用機種	試錐機	東邦地下工機 D1-B48型	エンジン	ヤンマー TF120V-E型	ポンプ
					東邦地下工機 BG-3C型

標尺	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取		室内試験	削孔月日	
											深度 - N 値 図		N 値	100mm毎の打撃回数	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深度			採取方法
	78.10	0.40	砂質土	砂質土	暗褐	rd2			崩壊土 ・最上位は基根混じる暗褐色の腐葉土 ・ひん岩弱風化岩 (L) ・白亜紀後期岩脈類 ・岩質はやや軟質化、節理に卓越し採取試料は岩片-礫状を呈す		50	1.15	50	50	50					
1	76.70	1.80	ひん岩	ひん岩	灰緑				黒雲母花崗岩風化土 (DM) ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・原岩組織は明瞭に残存 ・採取試料は部分的に岩芯を残す土柱状を呈すが脆く、容易に圧潰される ・黒雲母花崗岩強風化岩 (DH) ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・採取試料は岩芯を残す土柱状を呈すが、上位同様、強指圧により容易に圧潰可能 ・風化核残留状を呈し、場所的にやや硬質部を挟む ・深度方向に固結度を増し漸移的に硬質化下部では礫-岩片状を呈す		50	1.20	50	50	50					
2	75.80	2.70	花崗岩	花崗岩	淡褐							48	2.15	15	17	48	300			
3												50	3.15	17	24	9	50	220		
4												50	4.15	35	15	50	130			
5												50	4.28	30	30	100				
6	72.47	6.08										50	5.05	50	50	100				
												50	5.13			100				
												50	6.05	50	50	80				
												50	6.08	80	80	80				